

人口減少時代を生き抜く過疎自治体の挑戦

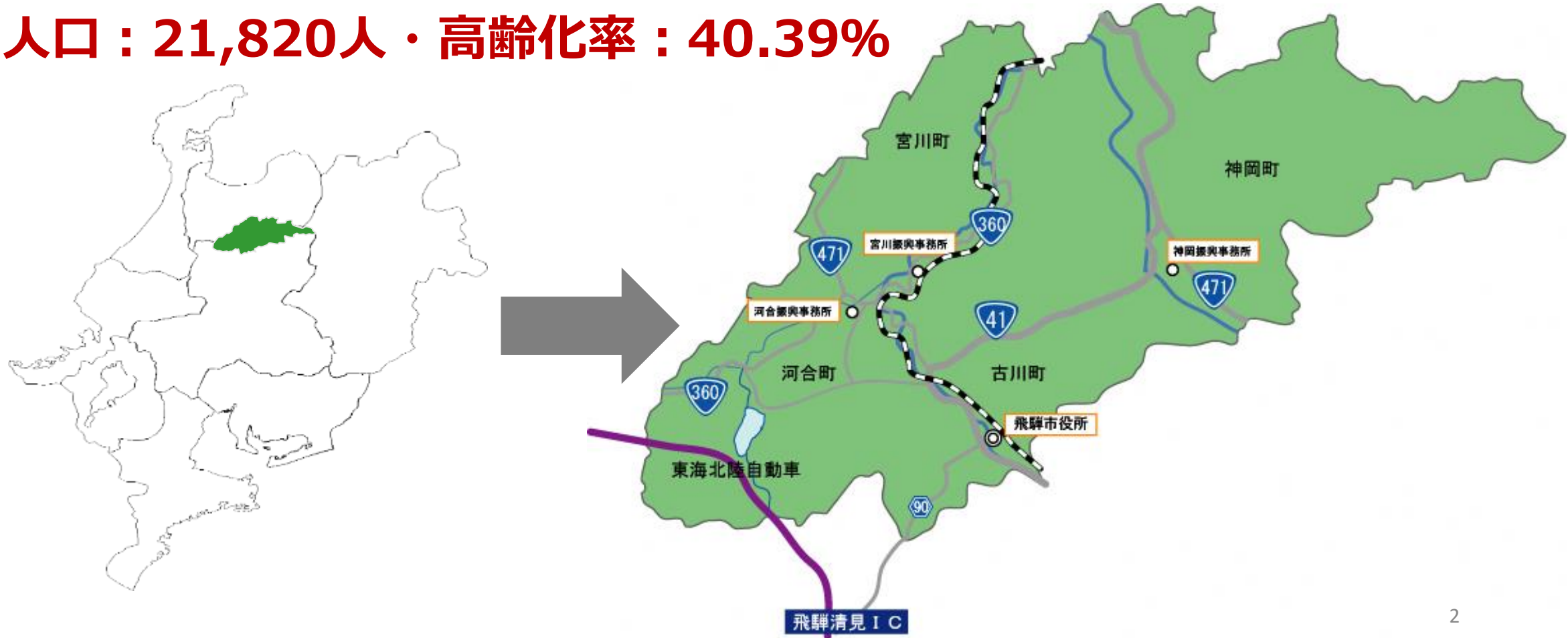
～ファンづくりから見出す地域経営～



岐阜県飛騨市

飛騨市の概要

- 平成16年2月1日に、**古川町、河合村、宮川村、神岡町**の2町2村が合併。
- 岐阜県の最北端に位置し、北は富山県、南は高山市、西は白川村。
- **人口：21,820人・高齢化率：40.39%**

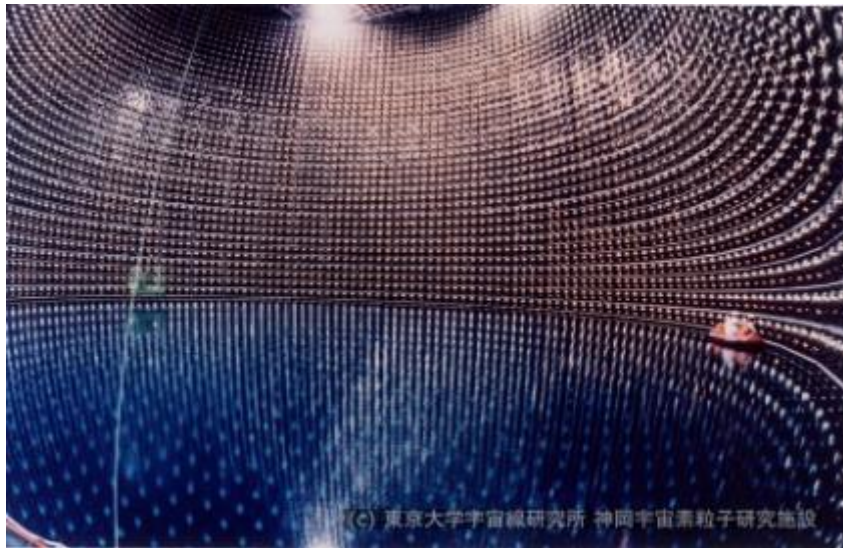




「古川祭」のユネスコ無形文化遺産登録



イメージとして飛騨市が登場する
映画「君の名は。」



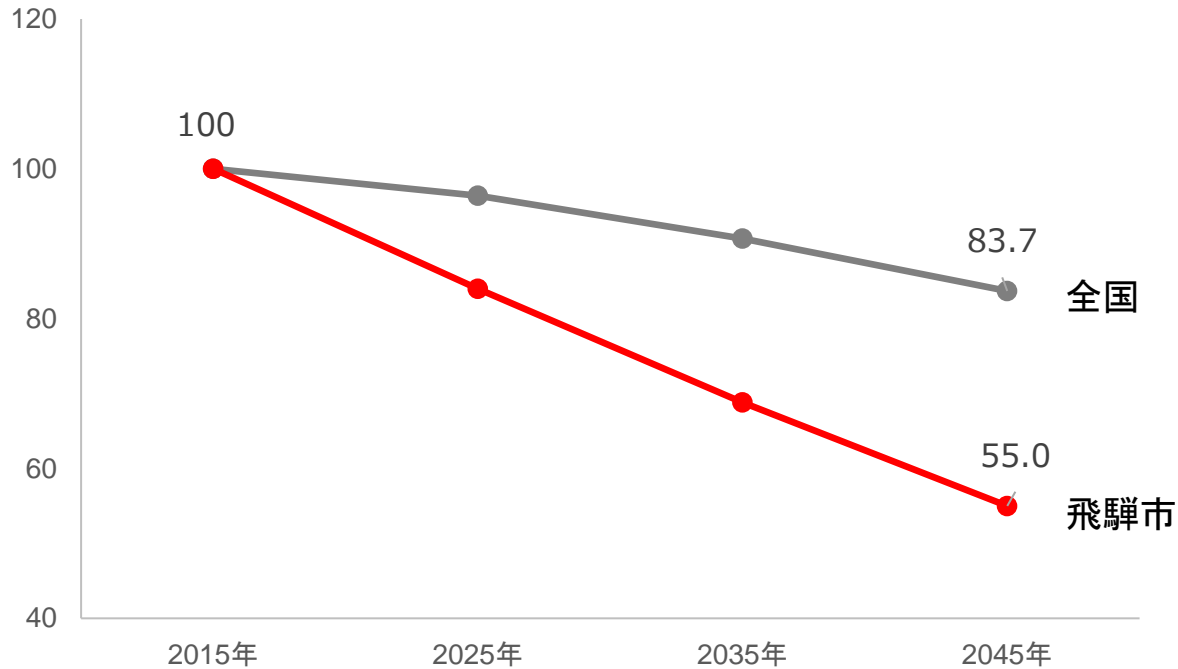
ノーベル物理学賞2名を輩出した研究施設「スーパークアミオカンデ」



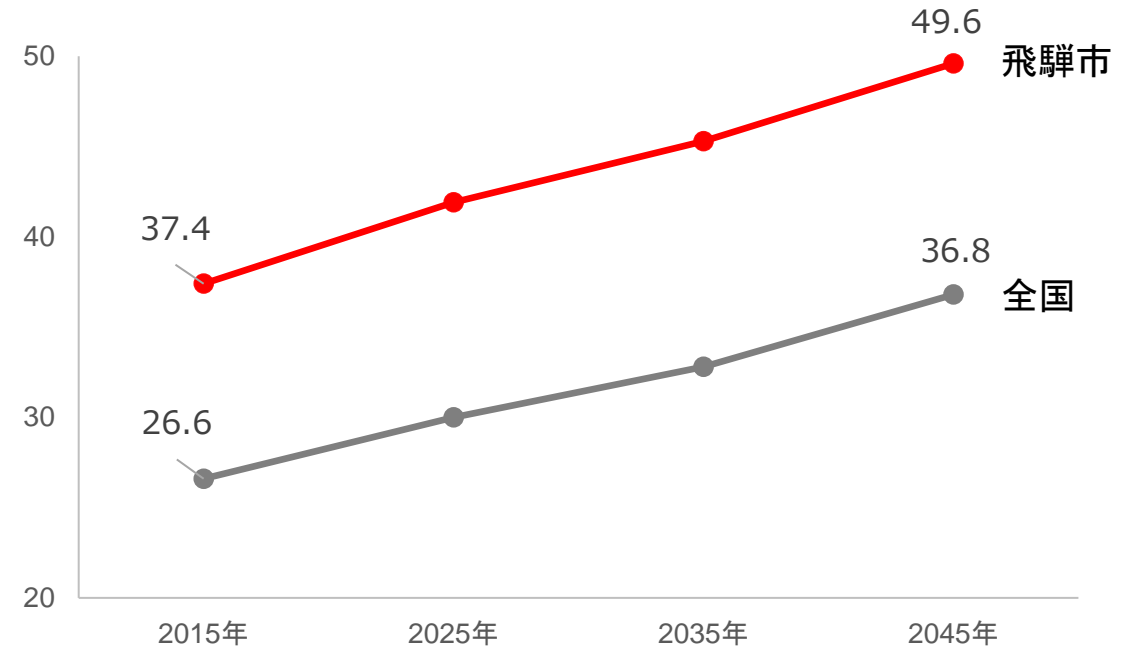
中日ドラゴンズ・根尾昂選手、「令和」を書いた茂住修身さん
も飛騨市出身

『人口減少先進地』：加速する人口減少・高齢化

人口指数 (%)



高齢化率 (%)



飛騨市はこの30年で**全国の倍のス**
ピードで人口減少する過疎地域

飛騨市はすでに**日本の30年後を上**
回る高齢化率である

※出典：総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、
総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

ポイントになるのは「**地域外の人との交流**」



「**飛騨市に心を寄せてくださる方の存在**」

観光客、大ヒットアニメ映画「君の名は。」のファンなど
飛騨市のファンは全国にいるだろう。でも、どこにいるの
か見えない…



飛騨市ファンクラブをつくろう！

ファンの見える化。連絡が取れる仕組みをつくり、
直接PRしたり、コミュニケーションをとろう！



飛騨市ファンクラブをスタート！

飛騨市に心を寄せてくださる方を見える化して、**直接コミュニケーション**がとれる仕組みを構築。

- 2017年（平成29年1月）設立
- 現在、16,500人を突破！
- No.8000までの会員証には楽天Edy機能（利用額の0.1%が楽天から飛騨市に寄附）



飛騨市ファンクラブの仕組み（4）

宿泊特典

会員が市内宿泊対象施設に宿泊した場合に、**電子地域通貨「さるぼぼポイント」2,000円分を付与！**



おもてなしクーポン

会員証提示すると**総額1,500円割引クーポン**を、会員名刺をご持参の場合は名刺と引き換えに、**総額1,200円割引クーポン**をプレゼント！



飛騨市ファンクラブサポートセンター

市内3か所に飛騨市ファンクラブサポートセンターをオープンし、**市内で利用できる「おもてなしクーポン」を発行！**



飛騨市ファンクラブの仕組み（6）



令和7年2月28日時点

【会員数】 16,535名

- ・レギュラー会員 15,088名 (91.2%)
※飛騨圏外の方
- ・ふるさと会員 1,447名 (8.8%)
※飛騨圏内の方



レギュラー会員の構成割合

【地域】

No. 1	東京都	19.8%
No. 2	愛知県	15.5%
No. 3	岐阜県	9.8%

【年齢層】

No. 1	50代	11.4%
No. 2	40代	8.6%
No. 3	60代	7.6%

飛騨市ファンクラブ会員との交流 STEP1

飛騨市ファンの集いを平成29年度から開催。（東京からスタート！）
飛騨市の地酒や料理を楽しんでいただきながら、**会員同士やスタッフとの交流**を深める。これまでに東京4回、岐阜3回、愛知1回、大阪1回を開催。



飛騨市ファンクラブ会員との交流 STEP1

都市部などではなく「**飛騨市に行ける機会がほしい!**」との声に応えて、「飛騨市ファンの集いin飛騨市」を開催。
地元民しか行かない焼肉店や地元の公民館で集会スタイルなど地域の魅力を活かしたディープな企画内容で実施。



飛騨市ファンクラブ会員との交流 STEP 2



飛騨市に行きたい！魅力的な機会がほしい！

岐阜市周辺の情報誌「月刊ぷらざ」とコラボしてバスツアーを開催。参加者から飛騨市ファンを生み出す！
(平成30年度以降、これまでに8回実施)



飛騨市観光プロモーション大使のタレント・永田薫さんと行くツアーも開催し、永田さんのファンが飛騨市ファンに！

お出かけファンクラブの開催

各地での「ファンの集い」は事務局の負担が大きく大変。そこで、飛騨市に関心のある方の会を催していただければ、**市長や職員が美味しい飛騨牛と酒、お土産を持参して全国どこへでも伺います**という企画。

(これまでに静岡県静岡市、北海道釧路市、東京都中野区、東京都大正大学、福井県おおい町・京都府京丹波町・岐阜県岐阜市・東京都品川区で実施)



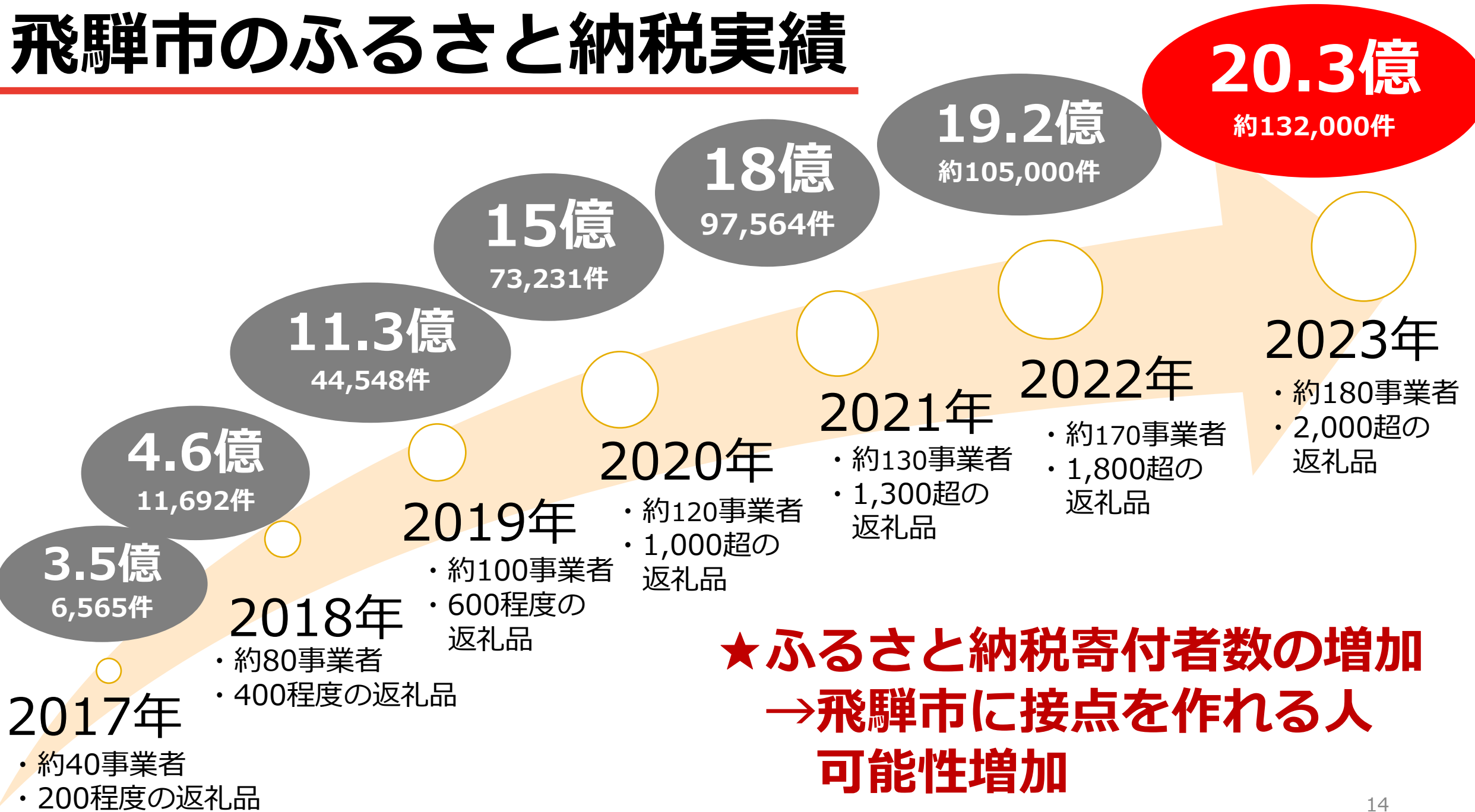
部活動の開催

会員同士の交流促進・友人知人を増やすため、市内の資源を題材にテーマごとに8つの部活動を実施。



会員からの声で部活動が新たに設立する流れもできている

飛騨市のふるさと納税実績



★ふるさと納税寄付者数の増加
→飛騨市に接点を作れる人
可能性増加

飛騨市ファンクラブ会員との交流から気づいた「関係人口」



ファンの集いやバスツアーなどを開催しながら、
会員と交流を深めて、約3年。

「スタッフとして**お手伝い**してもいいですか？」
と遠方から飛騨市に来て下さる会員が出現！！

沿岸域学会誌, Vol.33 No.3, pp.49-58
(Journal of Coastal Zone Studies)

2020年12月

論文

現代日本社会における「関係人口」の実態分析： 全国アンケート調査の結果から

Empirical Analysis on an “Associated Population” in Contemporary
Japanese Society: From A National Level Survey Results

杉本 あおい*・杉野 弘明**・上田 昌子***・船坂 香菜子****
Aoi SUGIMOTO, Hiroaki SUGINO, Shoko UEDA and Kanako FUNASAKA

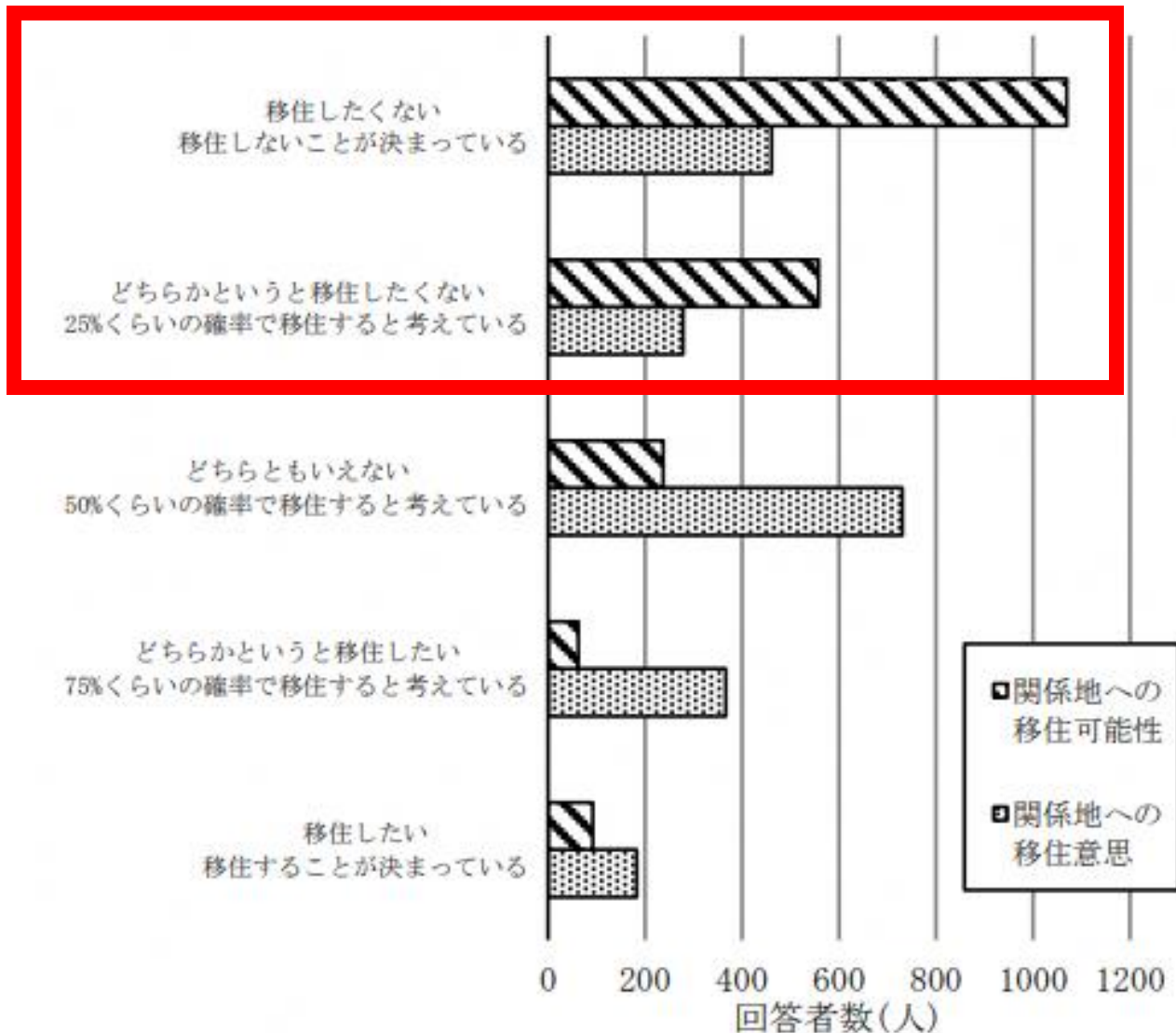
要旨：超高齢化社会の到来を前に、農山漁村を含む地域の活性化が喫緊の課題として叫ばれている。この課題解決の一方策として「関係人口」の創出と活用が社会的に注目されているが、これについての実証研究はまだ十分ではない。そこで本稿は、この実態を実証的に明らかにし、これが地域活性化に貢献すべく今後深められるべきテーマについて論じることを目的とする。全国5,000人に対するアンケートの結果、「関わりのある地域（関係地）」を有しているとは回答したのは40.4%（うち漁村部3.5%、郊外部34.6%、都市部48.6%、農村部11.1%、その他2.2%）であった。関わり方としては血縁関係やライフイベント（就学、就労など）を介したものと共に、それらを介さない関わり方も多く存在し、そうした関わりによって高い地域愛着を有する人々が日本全国に存在すること、他方で血縁を介した地域に負の愛着を有する人々も多く存在することが示された。人と地域の関係性には

現代日本社会における 「関係人口」の実態分析 全国アンケート調査の 結果から

沿岸域学会誌論文発表 令和2年12月

※令和3年度沿岸域学会誌の論文奨励賞を受賞

研究からわかってきたことー全国調査よりー その1



関係人口は**移住する**のか？

移住しない・移住したくない層が圧倒的に多い

滞在日数は重要ではないが、**1度滞在しているかどうか**は重要。

地域愛着は、preference(好み), pride(誇り), belonging(帰属), future responsibility(未来への責任), cherish(大切)の5要素に分解できることがわかった。そのそれぞれと滞在日数との相関を調べた結果は以下の通り。

	Preference	Pride	Belonging	Future Resp	Cherish
1か月以上	-0.10	-0.09	0.18	-0.04	-0.10
2週間から1か月未満	0.11	-0.02	0.11	-0.02	0.03
1週間から2週間未満	0.15	0.03	0.10	0.10	0.08
1週間未満	0.15	0.18	0.09	0.11	0.13
ほぼ滞在しない	-0.14	-0.10	-0.22	-0.09	-0.08

表7 地域愛着を説明する関わり方の理由(重回帰分析)

	係数 (β)	標準誤差	t値	p値	
(Intercept)	77.39	0.68	113.35	0.00	***
トピックグループ1 配偶者の実家や出身地	-23.89	11.03	-2.17	0.03	*
トピックグループ2 友人知人が多く楽しい思い出	<u>46.79</u>	12.76	3.67	0.00	***
トピックグループ6 一回～数回訪れ、印象深い	18.40	7.82	2.36	0.02	*
トピックグループ12 人生の中で印象深い経験	<u>32.30</u>	9.67	3.34	0.00	***

関係地に対する地域愛着度が高まる要因

- ・ 友人知人が多い
- ・ 印象深い経験
(楽しい・自己有用感が感じられる)

*** p < 0.001, ** p < 0.01, * p < 0.05

2020年4月～飛騨市関係案内所「ヒダスケ！」創設

地域振興課 関係人口係

クラウドファンディングPR

ファンの集い企画・運営



お祭りの参加

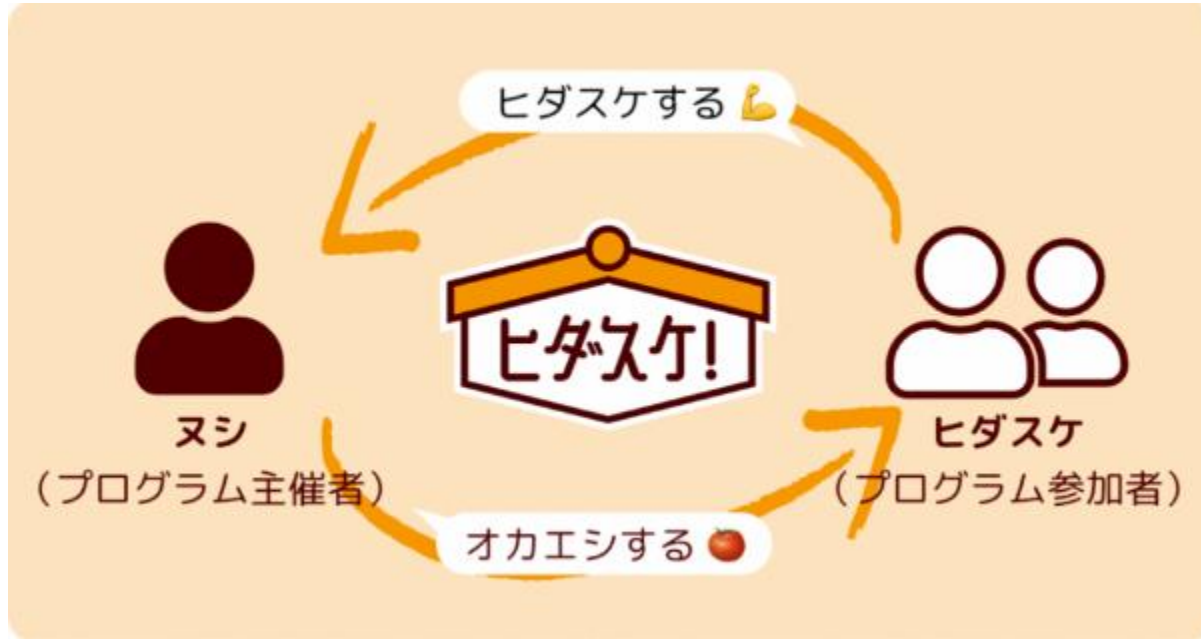
農作業支援

景観保全作業



様々な関係性・つながりのきっかけをつくる『関係案内所』を設置。
地域資源の活用、市内からの課題を吸い上げ、プログラム化。地域外人材とのマッチングする。

ヒダスケ！についてーどんなサービス？



飛騨市内にある様々な困りごとの解決のために、全国の皆さんの力をお借りして、楽しく交流をしながら助け合いを生み出すプロジェクト

- ① 市民・事業者の困りごとをいつでも登録
- ② マッチングの支援をウェブやSNS・申込サイトで行う
- ③ 関わってくださった方は“オカエシ”がもらえる

※オカエシ = 体験や経験、野菜などの食べ物、地域通貨（さるぼぼコイン）など

ヒダスケ！のプログラム



♡ 40

清流の国ぎふで文化祭！飛騨市の巨大あんどんをみんな…

📅 2024/06/15～2024/07/20【受付終了】

🍷 500さるぼぼポイント＋竹組み、和紙染めなどのオブジェづくり体験♪



♡ 95

『自然を守り、地域とつながる、みんなで森スケ！』自…

📅 2024/07/13～2024/11/10

🍷 500さるぼぼポイント＋池ヶ原湿原（森のコンサート）、天生湿原（…



♡ 32

飛騨古川「白壁土蔵&瀬戸川でキャンドルナイト！」イ…

📅 2024/07/13～2024/07/14【残りわずか】

🍷 500さるぼぼポイント＋当日会場のバザーで使える1000円チケット♪



♡ 44

宇宙研究最先端を飛騨で体感できる！GSAイベント実行…

📅 2024/07/13～2024/07/14【受付終了】

🍷 500さるぼぼポイント＋特製クリアファイル、研究者との宇宙最先端…



♡ 35

伝説の鮎釣り名人！室田正氏が鮎釣りを伝授する『おっ…

📅 2024/07/13～2024/08/10

🍷 500さるぼぼポイント＋河原でいたたく出来立てのアユの塩焼き



♡ 83

【森スケ！】飛騨の宝！『池ヶ原湿原』を守る外来種除…

📅 2024/07/13【受付終了】

🍷 500さるぼぼポイント＋森のコンサート、作業後は湿原を自由に散策…



♡ 54

飛騨古川で「田んぼのビオトープの生き物調査！」田ん…

📅 2024/07/15

🍷 500さるぼぼポイント＋はらぺこ研究会のしらす米3kg、生き物博士…



♡ 47

桃を赤くするお手伝い！『シルバーシート張り』をしよ…

📅 2024/07/19～2024/07/20【受付終了】

🍷 500さるぼぼポイント＋桃のお土産チケット（後日、8月以降の収穫…

ホームページ上の「ヒダスケ！」に市民が手伝いを期待するプログラムを提供

参加者（ヒダスケさん）は、掲載されているプログラムから好きなものを選んで申し込む仕組み

2023年度 ヒダスケ！への参加状況について

年間を通して実施するヒダスケ！に定期的に参加する方。さまざまなプログラムに月2～3回と参加する方など、一定数がリピートしている。プログラム実施率は9割を超えており、1プログラムの参加者数についても、参加枠に対して増枠するプログラムでできている。

リピート率

31%

2回以上ヒダスケ！に参加



プログラム実施率
(マッチング率)

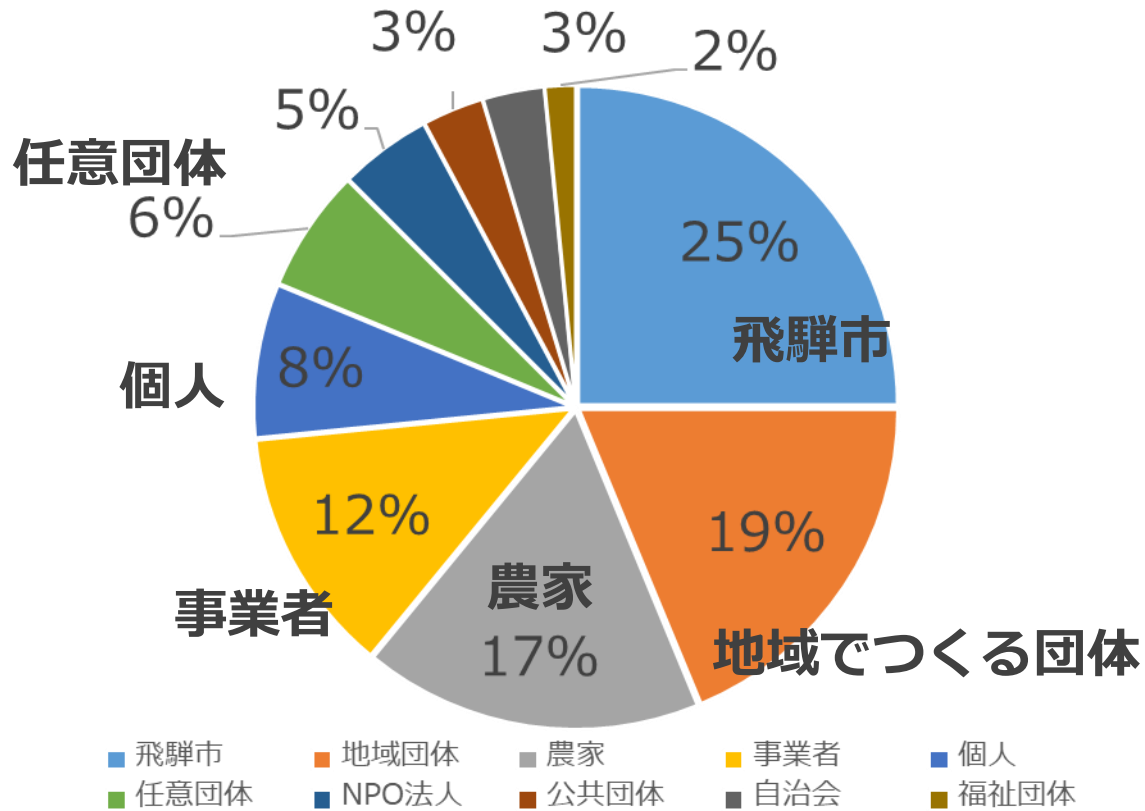
92.3%

実施数

実施数 + 中止一天候不良による中止

ヌシの所属

ヌシの数 **64人**



地域として域外の人材を受け入れられるところが増えている。



ヒダスケさんの属性

ヒダスケさん
参加者別居住地域*

岐阜県	65.1%
東海 (岐阜県を除く / 主に愛知県)	14%
関東	12.2%
北陸・甲信越	5.5%
関西	2.3%
海外	0.5%
その他	0.4%

岐阜県内	
飛騨市	33.3%
高山市	17%
地域外	14.8%

地域外からの参加だけでなく、市民の参加もある。(域内交流も生まれている)

プログラムのご紹介【種蔵地区作業編】



■ 困りごと

種蔵地区の景観保全に欠かせない『農業』が高齢化により困難。

■ ヒダスケ！内容

- ・ みょうが畑の作業である草刈り、間引き、収穫（4月・6月・8月）を参加者と地元の方と行う。
- ・ 参加者の中で希望する方には、畑の区画を『myみょうが畑』として提供。

→953m²のみょうが畑が復活！

プログラムのご紹介【農業編】



■ 困りごと

- ・ 農業の繁忙期は、1～2か月。
求人しても人が見つからない。
- ・ 耕作放棄地が増えている。
(全盛期の1/4が耕作放棄地)



■ ヒダスケ！内容

- ・ 誰でも参加しやすい収穫や出荷作業をお手伝いして、**出荷量を増やす。**
- ・ **人手不足の解消。**

プログラムのご紹介【イベント補助編】



■ 困りごと

イベントを盛り上げるための人手が足りない。運営の一部を補助をしてもらいたい。

■ ヒダスケ！内容

- ・ スタッフとしてイベント事務局側になり、受付業務やブース等の補助をお手伝い
- ・ イベント参加者とも交流し、イベントを盛り上げる。
- ・ **スタッフの一員となってお手伝いすることでの特別な体験。**

プログラムのご紹介【レシピ・広報編】



■ 困りごと

特産品の発信やブランド化をしたいがノウハウがない。

■ ヒダスケ！内容

- ・ 市内事業者が生産する特産品のレシピ考案や広報や企画をオンラインでお手伝い。
- ・ **新聞掲載、SNSでの広報につながる。**



ヒダスケ！の実績（2020年4月～2024年2月の取り組み）



- ・プログラム数：404回（2024年度:114件）
- ・参加人数：4,603名（2024年度:1,465名）

ヌシ（主催者）の声

- ・商品を買ってくださる方やクラウドファンディングをしてくださる人がいた。
- ・継続的なつながりが持てた。
- ・人手不足解消の一助になった。
- ・仕事がはかどった。
- ・飛騨を愛する方たちと出会えて楽しい。

ヒダスケ（参加者）の声

- ・地元の方々と交流できて嬉しかった。今後も交流や商品を注文したい。
- ・なかなかお会いできない方に、会えたり、体験ができて嬉しかった。
- ・市民の方のアツい想いを知ることができて共感できた。今後も関わりたい。



地元金融機関との連携

- ・サポートクラウドファンディング：15
- ・総支援者 4,090人 44,886,256円

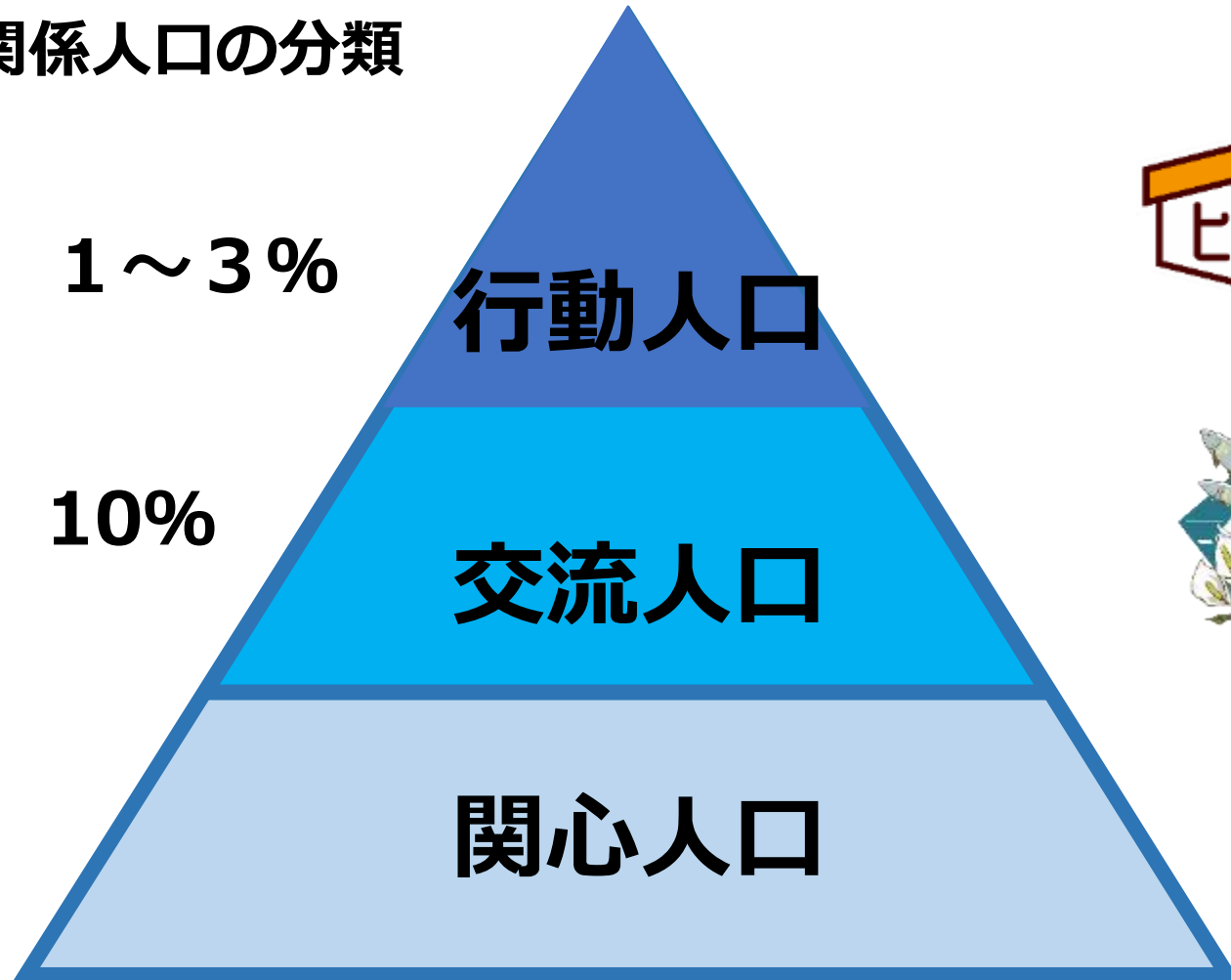
ヒダスケ！による地域の変化



- ・ 地域内外での往来・助けあいが生まれ、「お互いさま」の精神で地域の人々が**エリアを超えて助け合う土壌**が育まれている。
- ・ 交流によって改めて活動に力が入ったり、新たな商品化に**チャレンジする動き**が生まれている。
- ・ 少しずつ賑わいが生まれ、**地域の魅力を維持する原動力**になっている。

“人交密度”を高め、多くの人と関わる懐の広いまちづくり
「うれしい！楽しい！面白い！」を追求する活動の展開

関係人口の分類



ヒダスケ！



飛騨市ファンクラブ
ファンの集い
ツアー



ふるさと納税・観光
飛騨市ファンクラブ